

あつし塾長の 子のやる気 親の気づき

〇〇72

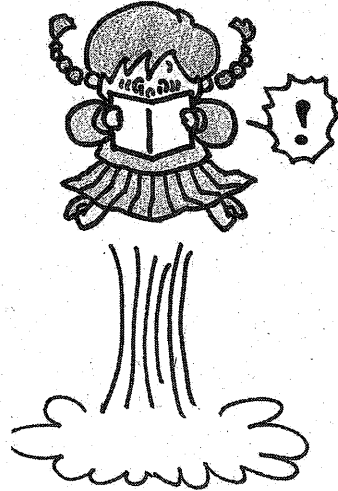


夏期講習会の3日目。自分で勉強することに決めました」と、初日の夜に駆け込みで入塾したばかりの中3男子が唐突に退塾を申し出ました。「昨日、君の両親もそろっている席で、入塾の契約を交わしたよ。なぜ、2日で約束を破る

やればできる②

の?」私は尋ねました。すると「すみません。謝ります」と一言。あまりにも素直な頭の下げ方を見て、家庭でのしつけの場面をとっさに想像しました。最近はお子の関わりの中でも「面倒」や「嫌な気分」になる言い争いは敬遠されます。塾でもそんなしつけの場面にいくわすことが少なくありません。親はいつものやり方で叱り、反省や謝罪を求め

孤独の中で育つ「覚悟」



by yoriko

不勉強を取り戻すために塾に通いますと誓いました。塾長として君の決意に応えたいと思っただけが」と私に話しかけました。それでも彼は「家でも勉強は、やればできる」と思っています!と答えました。私は入塾面談に臨んだ両親、本人、塾生活リズムの中に戻っていきます。日常の安全、安心、便利が子育てのせつかくの正念場も簡便に収めてしまっている気がします。だから私は「どうやって謝るの?」とさらさら聞き流して、彼に少し考えて「土下座して!」と返答。「これまで面倒なことは極力とを、誰に相談した?」

言葉尽くし意欲引き出す

避けてきた君が、トックプクラスの高校を目指したいと一昨日の面談の際に本音で語ってくれました。これまでの手だ。君の話は信用で

きかない。誇りのない人間に土下座は意味がない。実績のない人間の「やりませぬ」も意味がない」と一喝しました。すると彼は「人に迷惑は掛けていません。自分をごまかしていただけです」と目に涙を浮かべました。私は「やればできる」と思っている子の意欲を引き出すためには、人間関係を構築した後に言葉を尽くすことだと考えています。コンビニで買い物、携帯で連絡、そして親子送迎や移動する子どもたち。親の世代が子どもだったころは、夜ともなれば街は暗く、門限破りや家出宣

広島県の学生徒らへ少年交流の



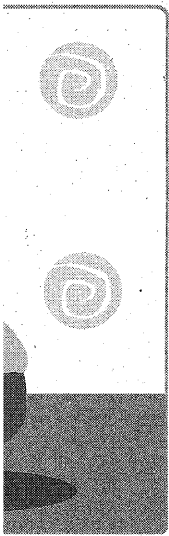
東日本大した地域のを、他の都体が招待す発だ。招待△は、勉強さままで側の工夫がものばかり離れた温か確実に児童に良い影響る。 広島県教 8月、教員があつた宮高校の2年 広島県江田 れた同県立 合宿に招待 したのは呉

体で覚えさせる達成感

教育

子どもは、簡単にでき てしまうことにはすぐ飽 きてしまいます。一方、 努力しなければできない ことに対しては思った以

育を



がみ、かかとを下ろ イミングで後転すれ 様の効果が得られま 真っすぐ後ろに転 ない子もよくいます。 れは、耳の横に持っ た手のひらで、きち マットが押せていな です。左右のブラン しい具合に押せれば